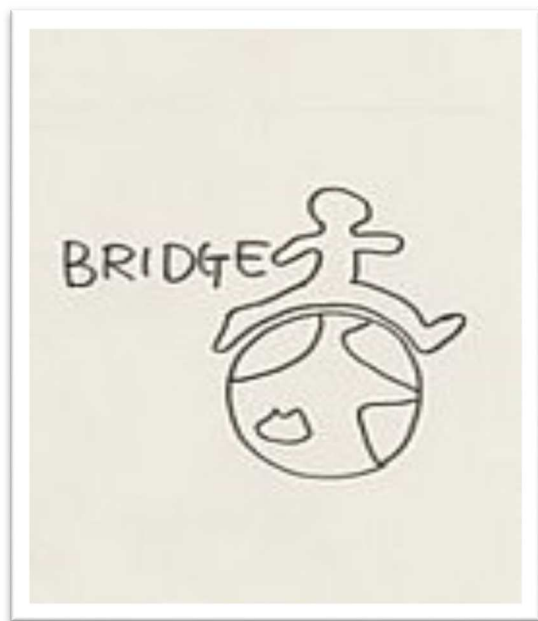


BRIDGE

Since 2005



2015/04

国立国際医療研究センター



BRIDGE (ブリッジ)とは、2005年秋に国立国際医療研究センターで働くスタッフの有志によって設立されたサークルです。国際保健医療協力を志す者同士が交流を広げ、病院内にいながら国際保健に関する情報の共有やスタディーツアーの企画・参加を通し、国際保健について学ぶ場となっています。

定例会

毎月1～2回、研修棟3階国際協力局ロビーにて定例会を開いています。定例会では、セミナーや報告会の企画・準備を行っています。また、メンバー同士が最近の読んだ本や映画、気になったニュースなどを話題にし、情報交換の場にもなっています。

国際保健医療をはじめ、幅広い分野に興味関心を持つメンバーと話し意見交換できることも、定例会の良いところです。忙しい仕事の合間にBRIDGEの仲間の話を聴き、楽しみながらも国際保健医療への初心を忘れないように、お互いに声を掛け合い、努力しています。堅苦しい場ではありませんのでいつでも気軽にご参加下さい。会費制度はありません。



BRIDGE メンバー一同より

ご興味を持ったあなたへ
BRIDGE のメンバーはいつでも
あなたの参加を心待ちにしています。

国際協力への道を
一緒に歩みませんか？



発行: BRIDGE 2015年4月
代表 山口 明彦 (10階東病棟 看護師)
akihikozeal@yahoo.co.jp
副代表 森山 潤 (国際医療協力局 看護師)

セミナー

BRIDGEメンバーが主導し、グループワーク
やワークショップを行います。昨年度は自己紹介
イベントに始まり、スタディーツアーの事前勉強
会や報告会などを行いました。

セミナーや勉強会では、文献や資料を集める
だけでなく、他のメンバーとの共有を図るため、
プレゼンテーションを積極的に行っています。こう
した活動もメンバーのプレゼンテーションスキルの
向上につながっています。また、セミナーでは
現場の雰囲気を疑似体験ができるよう、写真な
どを使い、楽しみながら取り組んでいます。



セミナー 風景

スタディーツアー

スタディーツアーでは企画・運営・交渉などの過
程を通じて、多くのことを学びます。



2014「タイの難民学校 Sky Blue School」
現地の医療を見て・聞いて・感じ、国際保健医療協力へ
の自分たちの課題を再認識。

<これまでのスタディーツアーの実績>

- 2006年: ラオス (JICA キッズスマイルプロジェクト視察)
- 2007年: タイ (ミャンマー難民キャンプ、学校保健視察)
- 2008年: フィリピン (スモーカーマウンテン視察)
- 2009年: 中止 (新型インフルエンザ流行のため見送り)
- 2010年: 奄美大島ハンセン病療養所施設実習
日本国際保健医療学会参加 (福岡)
- 2011年: バングラデシュ (ダッカ市内の2病院を研修)
- 2012年: タイ (ミャンマー難民キャンプ、学校保健視察)
- 2013年: ベトナム (JICA 事業北西部省医療サービス強化
プロジェクト視察)
- 2014年: 中止 (エボラウイルス流行のため見送り)